

環境報告書 2026 (Environmental Report 2026)

クリーンで住み良い地球環境の実現

BASF INOAC ポリウレタン株式会社

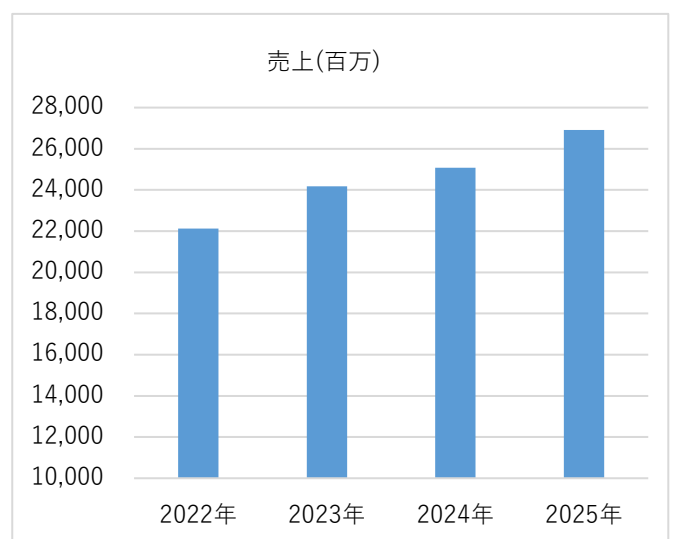
会社概要

社名	BASF INOAC ポリウレタン株式会社	事業内容	①ポリウレタン製品の製造加工販売 ②ポリウレタン発泡設備及び発泡技術の販売 ③ポリウレタン原料の販売 ④上記に附帯する一切の業務
設立	1965 年(昭和 40 年)11 月 1 日	従業員	192 名 (令和 08 年 4 月現在)
資本金	4 億 9509 万 2000 円		
出資比率	株式会社イノアックコーポレーション 50% BASF ジャパン株式会社 50%		

本社営業所

本社	愛知県新城市川田字本宮道 1-196 〒441-1347
東日本営業所	東京都品川区西五反田 2 丁目 12 番 19 号 五反田 NN ビル 4F 〒141-0031
西日本営業所	愛知県名古屋市中区丸の内 1 丁目 17 番 19 号 キリックス丸の内ビル 3F 〒460-0002
東北営業所	宮城県遠田郡美里町北浦字二又下 28 番地 〒987-0005

売上推移



私たちは、株主である（株）イノアックコーポレーションと BASF ジャパン（株）の基本理念に基づき、環境方針を定め、全社で継続的な環境保全、改善活動に取り組み「クリーンで住み良い地球環境の実現」を目指します。環境と調和するテクノロジーと環境を大切にする企業活動を通して、かけがえのない地球の自然環境を尊重し、豊かな暮らしと社会の実現に貢献します。

私たちは、常に責任ある行動をとるとともに、レスポンシブル・ケアを率先して遂行します。企業収益が、安全、衛生問題、及び環境保護より優先される事はありません。

環境方針

私たちは「クリーンで住み良い地球環境の実現」を目指し、環境方針を次の通り定め、全社で継続的な環境保全、改善活動に取り組みます。

1. 企業の社会的責任（CSR）を果たすため、関連する法規制および協定を順守し、環境保護と高品質の両立を図り、現在および将来の気候変動を見据えた継続的な保全・改善活動を推進します。
2. ポリウレタン原料、製品の開発、生産活動における環境目的、目標を定め全社でその実現に取り組みます。
3. 廃棄物の削減と省エネルギーを推進します。
4. 環境負荷の少ない原料を利用した、製品設計、生産を通じ環境汚染の予防に努めます。
5. 地域との環境調和を図るとともに、地域の環境保全、改善活動に積極的に参画します。
6. 環境教育や社内広報活動を通して、工場で働くすべての人への環境方針の周知と環境に関する意識向上を図ります。

活動報告

目標	2025 実績	結果
CO ₂ 排出抑制量の削減 (2025t-CO ₂)	2045t-CO ₂	×
廃棄物排出量の削減 2024 年度比 3%削減(326 t)	376.5t	×

○：目標達成 △：一部目標未達（前年よりは改善） × 目標未達

CO₂排出抑制量削減の取組みについて

当社では CO₂排出量削減に向け、設備改善および運用見直しを中心とした各種省エネ施策を推進しております。

当期は、電気炉および加熱炉を中心に断熱性向上や運転条件の最適化等の対策を実施しました。具体的には、炉周辺の断熱強化や遮熱対策、ボイラー稼働時間の最適化などに取り組んでいます。

また、カーボンニュートラル関連展示会への参加を通じて、新技術や省エネ手法に関する情報収集も継続的に行っています。

一方で、生産量の増加（前年比で約 5～10%増）がエネルギー使用量に影響し、結果として CO₂排出量の抑制効果は限定的となりました。今後は、引き続き最新技術の情報収集を進めるとともに、設備稼働の最適化（操業体制の見直しや圧力設定の適正化など）を通じて、さらなるエネルギー効率向上と CO₂排出量削減に取り組んでまいります。

廃棄物削減の取組みについて

当社では廃棄物削減に向け、適正管理および排出抑制に取り組んでおります。

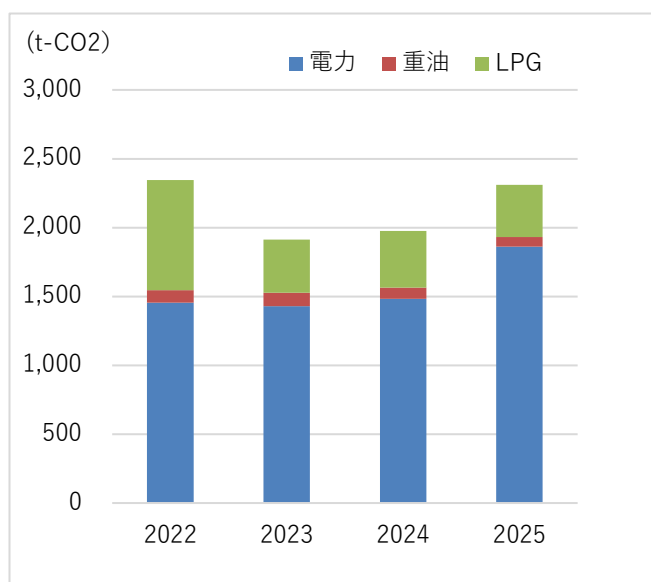
当期においては、廃棄物の発生量増加の主な要因として、BCP 対策用に備蓄していた廃液の使用期限切れに伴う廃棄（約 37.8t）、ならびに定期的（隔年）に実施している最終油水分離槽のバキューム清掃（約 8.9t）が挙げられます。

これらは安全確保および設備維持の観点から必要な対応ではあるものの、一時的に廃棄物発生量の増加要因となりました。

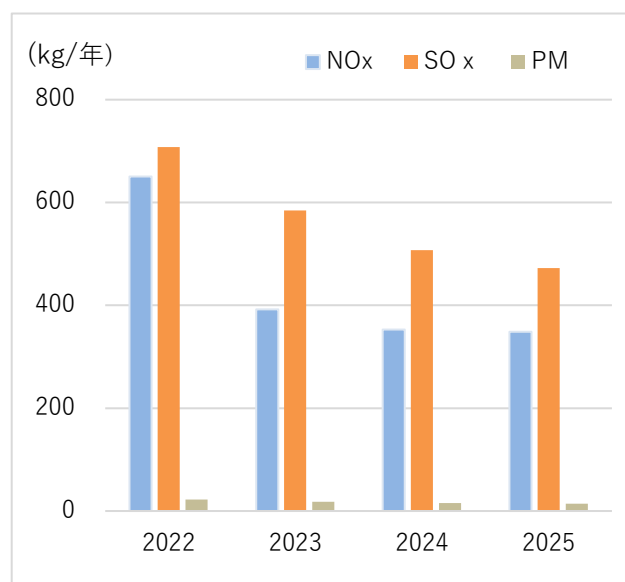
今後は、備蓄品の適正な在庫管理や使用計画の最適化を進めるとともに、設備保全に伴う廃棄物の発生抑制に向けた運用改善を図り、継続的な廃棄物削減に取り組んでまいります。

主要活動データ

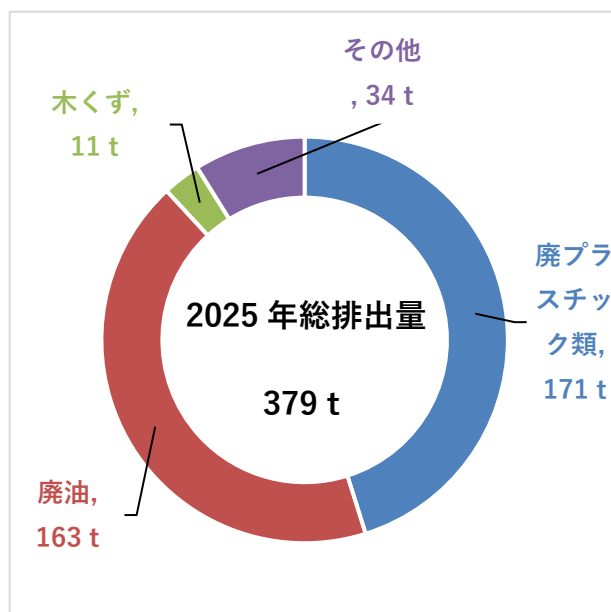
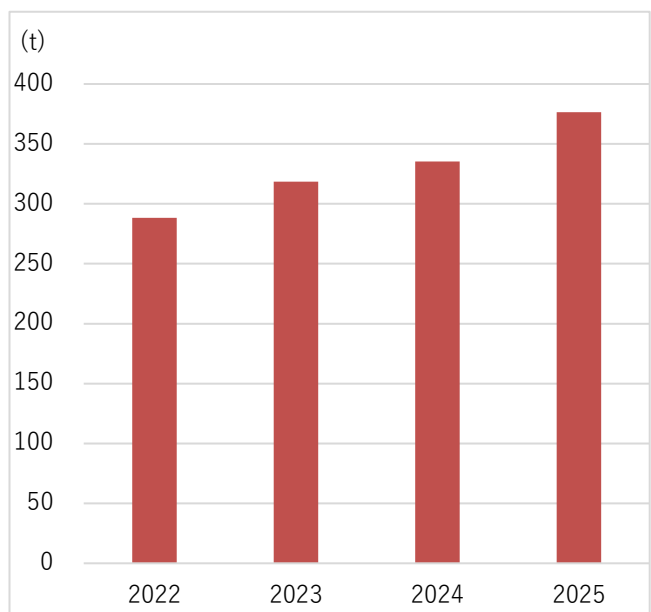
■二酸化炭素排出量



■エミッション<大気放出量>



■廃棄物排出量



■化学物質管理（PRTR）

PRTR 届出対象物質 （期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

単位：t/年

政令 No.	届出対象物質名称	取扱量	排出量	移動量
298	トリレンジ イソシアネート	24.0	0.0	0.0
354	フタル酸ジ-ノルマル-ブチル	1.0	0.0	0.0
448	メチレンジス(4,1-フェニレン)＝ジ イソシアネート	1,800.0	0.0	6,000.0
585	アルファ-（イソシアトペンジール）-オメガ-（イソシアトフェニル）ポリ〔（イソシアトフェニレン）メチレン〕 MDI	1,300.0	0.0	9,200.0
601	オクタメチルシクロテトラシロキサン	3.5	0.0	0.0
626	ジエタノールアミン	1.2	0.0	0.0

※ 届出対象物質 ：年間取扱量が 0.5 トン以上の特定第一種指定化学物質（特一）、及び、1 トン以上の第一種指定化学物質（一種）

BASF INOAC ポリウレタン株式会社

〒441-1347 愛知県新城市川田字本宮道 1－196

本報告書に関するお問い合わせ先

本社 経営管理本部 安全環境管理室

TEL 0536-23-5511

FAX 0536-23-0300

編集 経営管理本部 安全環境管理室

発行 2026 年 6 月

当社ホームページのご紹介
URL: <http://www.bip-jp.com>